

令和7年度 社会福祉法人実窓寺福祉会 かじのきこども園
 【保育室自己評価】～保育振り返りシート 令和7年8月記入

※各項目の評価（◎・○・△・×）の欄に
 ○をつけて下さい。

全クラス

氏名

保育教諭・看護師
 保育補助 20名回答

◎十分にできた ○できた △課題あり ×要改善

		◎	○	△	×
人権の尊重	子どもの権利について職員全体で確認し、十分配慮している。	12	7	1	
	保育者の言動は子どもに大きな影響を与えることを常に意識している	15	5		
	子どもに対して一方的な思い込みや偏った見方をしていない	11	9		
	子どもの良さを積極的に見つけ、誉めたり励ましたりしている	14	6		
	「なんでそんなことができないの」「片づけない人は遊ばせん」「また同じような事をやっている」等の否定的な言動をしていない	5	9	6	
	呼び捨てやあだ名での声掛け、不必要な大きい声、笑い者にするような言葉、無視をする等の行為をしていない	11	9		
	おむつ交換、トイレでの排泄、着替え、水遊び（プールでの活動含）、健康診断等の際は、裸のままであることがないように配慮し他者の視線を遮る工夫をしている	16	3	1	
	多様な家庭に対して偏見や差別意識を持っていない。	14	6		
	子どもの発達、経験の個人差、国籍、文化の違いに配慮している。	10	10		

虐待行為	子どもに対して威圧的、命令的、否定的な言葉づかいをしていない	8	11	1	
	「今はトイレに行く時間ではない」「今はこのおもちゃで遊ぶ時間です」等、子どもに対して支配的な関わりをしていない	5	14	1	
	食事中に眠くなった子どもを無理に起こして食べさせていない	10	10		
	嫌いな食べ物を無理強いして食べさせていない	12	8		
	叩く、押し倒す、つねる、揺さぶる等の体罰をしていない	18	2		
	子どもを管理するために体を抑える、腕を引っ張る等をしていない	14	5	1	

安心 環境・安全な	施設内（保育室・トイレ等）の清掃が行き届いており、玩具などは年齢に応じて適切な消毒が行われている	14	5	1	
	施設内外にかかわらず、死角を作らないよう配慮している	12	7	1	
	保育室は整理整頓され、雑然としていない	7	10	3	

人的環境	子どもにとって保育者が安心できる存在になっている	9	11		
	子どもの言葉にならないしぐさや表情を見逃さないようにしている	8	12		
	子どもの良さを積極的に見つけ、子どもとのやりとりが肯定的である	13	7		
	保育者の一方的な思いやルールで子どもに関わっていない	8	12		
	子どもと一緒に体を動かして遊びを楽しんでいる	11	8	1	
	園庭や近隣公園等での活動を通して、のびのびと体を動かす楽しさを感じられるようにしている	8	4	8	
	散歩等の活動を通して、自然物との関わりや季節の変化への気づきにつながる取り組みをしている	4	5	10	1

物的環境	友だちと好きな遊びができたり、一人でじっくりと遊びを楽しんだりできる空間を設定している	12	8		
	子どもが自ら遊びだせるように、子ども自身が選び、手に取れる場所に適切な量で成長に合わせた玩具や絵本を用意している	7	10	3	
	玩具や教材は、子どもが見て分かり、自分で無理なく戻せる環境になっている	8	7	4	1
	教材や道具（制作に必要なもの、楽器、運動に必要なもの等）が使いやすいように整理され、多様な表現活動が継続して経験できるように配慮している	7	10	3	

0歳児 4名回答

◎十分にできた ○できた △課題あり ×要改善		◎	○	△	×
0・1・2歳児	子どもの成長歴や心身の発達等を考慮して、主に担当する保育者を決めている	3	1		
	子どもの生理的要求（食べる・眠る・排泄）には主に担当する保育者が優先して対応している	3	1		
	子どもに関わる時は、その子どもに事前に言葉がけをしている（突然鼻を拭いたり、抱き上げたりしていない等 但し、緊急時を除く）	3	1		
	子どもを抱くときは後ろや横から不意に抱かず、必ず顔を見て抱いている	2	2		
	おむつ交換は声をかけ、スキンシップを大切にしながら行っている	4			
	着替えを援助するときは、無理やり脱がしたり着せたりしていない	3	1		
	子どものやる気を見守りながら、できない部分を援助している	1	3		
	「あとで」と言って子どもを待たせず、できるだけその場で対応しようとしている	2	2		
	生活や遊びの中で、子どもが選択できるような問いかけをしている	1	2	1	
	子どもは困ったときや不安になった時に担当保育者を探したり側へ行ったりしている	4			
	子どもは大人の顔を何うことなく感じたことや要求を表現している	4			

のびのびと育つ	はいはい、つかまり立ち、つたい歩き、歩行等の運動を促し、その動きや遊びがゆったりと楽しめるように、安全で十分に遊べる場を工夫している。	3	1		
	握る、いじる、つまむ等、指先を使って遊ぶ楽しさが味わえるように、様々な素材や玩具を用意している	2	1	1	
	子どもが興味・関心を満たす探索行動ができるように、安全で清潔な玩具や日用品等を用意し、自由に触れ、十分に遊べるようにしている。	1	3		

身近な人と気持ちを通じ合う	保育者との信頼関係が構築できるように、一人ひとりの子どもの遊びに付き合ったり、触れ合い遊びをしたり絵本を読み聞かせたりする等を通して、保育者との関わりを楽しめるようにしている	4			
	一人ひとりの子どもの要求の表し方や情緒面を理解し、イライラや不安が長引かないように優しく言葉をかけたり、期待感に応えたりしている	3	1		
	友達の使っている物に興味を持つ姿を受け止め、他の玩具を用意したり違う遊びに誘ったりする等、気分を変えて嫌な気持ちが長引かないようにしている	3	1		
	喃語やいろいろな声を出して話しかける姿を丁寧に受け止め、子どもの声を真似する等、保育者とのやりとりを楽しめるようにしている	4			
	「うれしいね」「気持ちいいね」等、顔を見ながら情緒的な言葉をかけて、子どもとの信頼関係が築けるようにしている	3	1		

食事の提供	授乳は子どもの顔を見ながら（気持ちを通わせながら）行っている	3	1		
	基本は特定の保育者が1対1で食事の介助をしている	1	3		
	食事は子どもの状況に応じて待たせることなく食べ始めさせている	1	3		
	子どもの正面に座り、子どもの食べる速さを見ながら（嚥下の様子を見ながら）食べさせている	2	2		
	一口の量は咀嚼や飲み込みの状況を見て加減している	4			
	咀嚼をしている時には、子どもの口の前に食具（スプーン・フォーク）を持っていかない	3	1		
	食事の途中で眠くなったら無理に食べさせていない	3	1		
	保育者等が連携して食事をする子ども、遊ぶ子ども、眠っている子どもの対応にあたっている	3	1		
	食事が終わった子どもや次に食べる子どもの遊びの環境を工夫している	2	2		

今後の保育の課題・目標（何をどのように）

- ・ 晴れの日には園庭に出て遊べていない。自然に触れたり、散歩者に乗って探索等遊びを広げたい。
- ・ 室内玩具の消毒、絵本・棚の整理整頓を心がけたい。
- ・ 鼻水を拭く前に事前に声掛けをすることができていないので、言葉かけを行ってから拭きたい。
- ・ 年齢・月齢に関わらず、子どもたち一人ひとりの特性や個性に合わせた関わり方をする。

1 歳児 4 名回答

◎十分にできた ○できた △課題あり ×要改善		◎	○	△	×
0・1・2 歳児	子どもの成長歴や心身の発達等を考慮して、主に担当する保育者を決めている	2	1	1	
	子どもの生理的要求（食べる・眠る・排泄）には主に担当する保育者が優先して対応している	3	1		
	子どもに関わる時は、その子どもに事前に言葉がけをしている（突然鼻を拭いたり、抱き上げたりしていない等 但し、緊急時を除く）	3	1		
	子どもを抱くときは後ろや横から不意に抱かず、必ず顔を見て抱いている	3	1		
	おむつ交換は声をかけ、スキンシップを大切にしながら行っている	2	2		
	着替えを援助するときは、無理やり脱がしたり着せたりしていない	3	1		
	子どものやる気を見守りながら、できない部分を援助している	2	2		
	「あとで」と言って子どもを待たせず、できるだけその場で対応しようとしている	2	1	1	
	生活や遊びの中で、子どもが選択できるような問いかけをしている	2	2		
	子どもは困ったときや不安になった時に担当保育者を探したり側へ行ったりしている	3	1		
	子どもは大人の顔を何うことなく感じたことや要求を表現している	2	2		

健康	歩く、走る、よじ登る、方向転換をする等の様々な動きを引き出し、体を動かす楽しさを感じられるようにしている	2	2		
	必要に応じて手伝いながら、手洗いや衣服の着脱等を自分でしようとする気持ちを大切にしている	4			
	一人ひとりの子どもの排尿間隔を把握し、おしっこが出ると教えたり、徐々に便器で排泄したりする経験が重ねられるようにしている	3	1		

人間関係	甘えたい、依存したい気持ちを十分受け止め、安心できる保育者との関係の中で十分に探索活動ができるようにしている	3	1		
	一人ひとりの子どもの要求の表し方や情緒面を理解し、一人で安心して遊ぶ気持ちや他の子どもへの関心が持てるようにしている	3	1		
	友だちの使っている物に興味を持つ姿を受け止め、思いをくみ取りながら、友だちと一緒にいることや同じ物を各々が使って遊ぶことに喜びを感じられるようにしている	2	2		

環境	ままごと・絵本・粘土・積み木等、遊びへの興味や関心が広がるように自分のやりたいことを一人でじっくり満足できるまであそびの時間や場を持てるようにしている	4			
	人形・ブロック・絵本等を子どもが自分で出して遊べるように、遊びたい物がすぐに見つかる置き場所の工夫をしている	2		2	
	身の回りの自然等に興味を持てるように、外遊びや散歩等の際に見たり触れたりする機械を大切に、周囲のことにに対して好奇心が持てるようにしている	2		2	

言葉	子どもが要求を身振り・指さし・言葉等で伝えようとする姿を丁寧に受け止め、心地よい声や言葉の響きに親しめるように、タイミングよく応答する		3	1	
	言葉にならない思いや話したいという気持ちを受け止め、子どもの思いを言葉にして返したり、言葉で確かめたりしている	2	2		
	言葉に親しみが持てるように、子どもが興味を持っている物の名前を伝えたり、簡単な言葉遊びや歌遊びを保育者と一緒に楽しんだりしている	2	2		

表現	全身で感触を十分味わい、諸感覚を働かせるように、豊かな自然、四季の変化、土や水などの様々な素材に触れる等の機会を保障し、子どもの感覚や感性を育むようにしている	1	2	1	
	保育者や友だちと楽しく遊んだ遊びを繰り返し楽しめるように、玩具や道具などを用意し、必要に応じて保育者がモデルとなったり、友だちのイメージを仲介したりしている	2	2		
	心地よい音楽や楽しいリズムに合わせて、思い思いに体を動かしたり歌をうたったりする中で、自然と心が共鳴し、保育者や友だちと一体感を味わえるようにしている	3	1		

今後の保育の課題・目標（何をどのように）

- ・一人ひとりの行動や様子を見ながら、子どもの伝えたいことを考え、気持ちに余裕を持ち見守ってあげたい。
- ・戸外遊び・散歩で、季節にふれる機会を増やしていきたい。
- ・時間に追われていると、子どもたちに話しかけられても「待ってね。」と待たせてしまう。対応ができるように余裕を持った保育ができるよう努めたい。
- ・日々の子どもたちへの関わりを丁寧に積み重ねていきたい。

2歳児 2名回答

◎十分にできた ○できた △課題あり ×要改善		◎	○	△	×
0・1・2歳児	子どもの成長歴や心身の発達等を考慮して、主に担当する保育者を決めている	1	1		
	子どもの生理的要求（食べる・眠る・排泄）には主に担当する保育者が優先して対応している	2			
	子どもに関わる時は、その子どもに事前に言葉がけをしている（突然鼻を拭いたり、抱き上げたりしていない等 但し、緊急時を除く）	2			
	子どもを抱くときは後ろや横から不意に抱かず、必ず顔を見て抱いている	1	1		
	おむつ交換は声をかけ、スキンシップを大切にしながら行っている	2			
	着替えを援助するときは、無理やり脱がしたり着せたりしていない	2			
	子どものやる気を見守りながら、できない部分を援助している	2			
	「あとで」と言って子どもを待たせず、できるだけその場で対応しようとしている	1	1		
	生活や遊びの中で、子どもが選択できるような問いかけをしている	2			
	子どもは困ったときや不安になった時に担当保育者を探したり側へ行ったりしている	2			
	子どもは大人の顔を何うことなく感じたことや要求を表現している	2			
健康	体を動かす楽しさを感じられるようにしている	1	1		
	歩く、走る、よじ登る、飛び降りる等の動きが引き出せるように、遊具を工夫したり、園外での活動を取り入れたり等遊びを工夫している	1	1		
	手洗い・うがい・衣服や靴の着脱・排泄等生活に必要な活動を見守りながら自分でしようとする気持ちを大切にしている	2			
人間関係	気の合う友だちと見立て遊びやつもり遊びを楽しめるように、素材や玩具等を複数準備している	1	1		
	甘えたい、依存したい気持ちを十分受け止め、自発性や我慢しようとする気持ちを支えるようにしている	2			
	気に入らないことを「いや」と否定したり、自分のやりたいことを主張する姿を受け止め、謝ることを優先させたり、不安定な気持ちを長引かせたりしないようにしている	1	1		
環境	ままごと道具や人形等を使って大人の生活模倣をしたり、積み木やブロック等での構成遊びをしたり、紙、粘土、布等の様々な素材に触れたり、クレヨン等を使って絵を描いたり等がじっくり楽しめるように、素材、玩具、道具等を十分用意して、遊びの場を工夫している	1	1		
	人形、ブロック、絵本等を子どもが自分で出して遊んだり区分して片づけたりできるように、物の置き場所を決め、片づけやすい場や分かりやすい表示を工夫している	1		1	
	身近な動植物に興味をもち関心を広げられるように、外遊びや散歩等の際に見たり触れたりする機会を大切に、周囲のことに對して好奇心がもてるようにしている	1	1		
言葉	周囲で起こる様々なことに関心を持ち、それらを真似したり言葉で表現したりしようとする姿を受け止め、子どもの伝えたい思いを言葉にしたり、状況を見ながら言葉をかけたりして、会話の楽しさを感じられるようにしている	2			
	保育者や友だちと一緒に絵本や紙芝居を見たり、手あそびや歌をうたったりすることを繰り返し楽しむことを通して、言葉を使いたくなる気持ちを引き出すようにしている	1	1		
	思ったこと、感動したこと等を自分なりの言葉を使って表現しようとする姿を認め、保育者がモデルとなり言葉の使い方を知らせているようにしている	1	1		
表現	全身で感触を十分味わい、諸感覚を働かせる中で、条件によって水や土等の感触や性質が異なることに気づくように、環境を工夫したり保育者が働きかけたりしている		2		
	身近に体験した出来事や生活の中で興味のあることを再現する遊びが展開できるように、子どものイメージが膨らむような物や道具を用意し、保育者や友だちとごっこ遊びを十分楽しめるようにしている	1	1		
	歌をうたうことに親しんだり、歌に合わせて体や手指を動かして楽しんだりすることを通して、他者と気持ちが通じ合う喜びや自分の思いを表現したいという気持ちが持てるようにしている	1	1		

今後の保育の課題・目標（何をどのように）

- ・子ども自身で発展した遊びができるように遊びを考えたり、環境を整えたりしていきたい。
- ・子どもたちの発達を理解し、職員と連携をはかり一人ひとりに合った保育を心がけたい。

3 歳児 4 名回答

◎十分にできた ○できた △課題あり ×要改善		◎	○	△	×
3 歳以上児	子ども一人ひとりの思いを受け止め、共感したり認めたりしながら信頼関係を築いている		4		
	子どもに関わる時には、事前に言葉がけをしている	1	3		
	子どもが不安になったり困ったりしたときは、安心できる言葉がけや援助をしている	1	3		
	排泄の援助は個人差に配慮し、一人ひとりに合わせた対応をしている	1	3		
	衣服の着脱は、一人ひとりの発達に応じて分かりやすい指導をしている	1	2	1	
	「あとで」と言って子どもを待たせず、出来るだけその場で対応しようとしている		2	2	
	社会的ルールを子どもが理解できるように導き、間違いに気づくように援助している	1	3		
	子ども同士が互いの気持ちや発言を受け入れられるように援助している	1	3		
健康	保育者や友だちと体を動かす楽しさを感じられるようにしている	1	3		
	様々な動きが出来るように、遊具を工夫したり園外での活動を取り入れたり等、遊びを工夫している	1	2	1	
	様々な遊びに興味を持てるように遊具や用具の種類・数量を配慮し、使いたい物が自由に使えるようにしている		2	2	
	手洗い等清潔にすることの気持ちよさを知り、衣服の着脱等生活に必要な活動を自分からしようとする配慮や工夫をしている		3		
人間関係	友だちがしていることに関心を持ち、友だちと一緒に遊ぶことを楽しめるように素材・材料・遊具等を準備している	1	3		
	友だちにも様々な思いがあることに気づき、自ら遊具や用具などの貸し借りをしたり、交代しようとしたりする等、一人ひとりの思いを受け止めるようにしている	2	2		
	クラスのみんなどと一緒に過ごす楽しさを感じられるようにしている	1	3		
環境	身近な自然物、様々な素材、材料等に親しみ、五感を働かせて楽しめるようにしている		3	1	
	形や大きさを意識して片づけられるように、片づけやすい場や分かりやすい表示を工夫している		2	2	
	飼育物や栽培物等に関心をもち、世話をしたり、触れたりすることに喜びがもてるようにしている		2	2	
言葉	安心して自分から保育者にしてほしいことや困ったことを伝えようとする事ができるように、言葉で代弁しながら思いを受け止めるようにしている	1	3		
	挨拶等生活に必要な言葉を進んで使おうとするように、保育者がモデルとなり言葉の使い方を知らせていくようにしている	1	3		
	絵本や紙芝居等の世界を繰り返し楽しめるように、時間的な余裕をもつとともに、場を工夫するようにしている		3	1	
表現	イメージを膨らませて見立てたり、なりきったりして遊ぶ楽しさを十分味わえるように、素材や衣装等を用意し、保育者も仲間になり一緒に楽しむようにしている		2	2	
	音楽に合わせて歌をうたう、楽器を鳴らす等、音楽の楽しさを様々な方法で表現できるように工夫している		4		
	イメージしたことを絵に描いたり紙を切って貼ったりする等、様々な素材を使って繰り返し十分に楽しめるように工夫している	1	1	2	

今後の保育の課題・目標（何をどのように）

- ・ 子どもの声や欲求に答えてあげられるようにしたい。
- ・ 子どもたちを待たせてしまうことがある為、時間にゆとりを持って対応できるようにしたい。
- ・ 散歩などを通して、色々な経験をさせてあげたい。
- ・ 子どもの人権や安全を守って毎日の園生活を楽しく過ごせるように努力していきたい。
- ・ 環境設定に課題が多いので、外遊び・室内遊びを工夫していきたい。

4 歳児 2 名回答

◎十分にできた ○できた △課題あり ×要改善		◎	○	△	×
3 歳以上児	子ども一人ひとりの思いを受け止め、共感したり認めたりしながら信頼関係を築いている	2			
	子どもに関わる時には、事前に言葉がけをしている	2			
	子どもが不安になったり困ったりしたときは、安心できる言葉がけや援助をしている	2			
	排泄の援助は個人差に配慮し、一人ひとりに合わせた対応をしている	2			
	衣服の着脱は、一人ひとりの発達に応じて分かりやすい指導をしている	2			
	「あとで」と言って子どもを待たせず、出来るだけその場で対応しようとしている		2		
	社会的ルールを子どもが理解できるように導き、間違いに気づくように援助している	1	1		
	子ども同士が互いの気持ちや発言を受け入れられるように援助している	2			

健康	保育者や友だちと一緒に体を動かして遊ぶ楽しさを感じられるようにしている	2			
	跳ぶ、走る、登る、はう、投げる、スキップ等様々な動きを楽しめるように、遊具や用具を工夫している	2			
	戸外での遊びにおいても、遊びの中でイメージが実現できるように、遊びの拠点となる遊具や用具を用意している	1	1		
	うがい・手洗い・衣服の調節等の基本的な生活習慣について、子ども自身が必要性を感じながら身につけていけるように配慮している	2			

人間関係	自分の思いを伝えながら相手の気持ちにも気づけるように友だちの思いを代弁したり遊びへの参加の仕方を伝えたりすることで、友だちと遊ぶ楽しさを味わえるようにしている	2			
	友だちとイメージを共有しながら遊ぶことを楽しめるように、素材・材料・遊具などを用意し、友だちとのつながりを感じ、譲り合って使おうとする気持ちを持てるようにしている	2			
	友だちやクラスの人々と一緒に遊ぶ中で、みんなで楽しく遊ぶためのルールやきまりの必要性に気づけるようにしている	2			

環境	イメージを膨らませて遊びに必要な物を自分なりに考えて作ることが出来るように、様々な素材・材料・道具・用具を用意している	1	1		
	生活や遊びの中で重さや硬さ等の物の性質や形に気づき、分類や比較ができるような遊びを取り入れている	1		1	
	生活や遊びの中で数や量に興味を持ち、子どもの発見や気づきを広げられるような遊びを取り入れている	1		1	
	身近な自然や動物に興味を持ち、保育者と一緒に見たり触ったり世話ををしたりする中で、より親しみが感じられるようにしている	1	1		

言葉	保育者や友だちとの言葉のやりとりを楽しめるように、自分なりの言葉で表現している姿を認め、相手に伝わった喜びや言葉で伝える必要性を感じられるようにしている	2			
	生活に必要な言葉や歌・絵本・紙芝居等の中で出てくる言葉に興味を持ち、遊びに取り入れるように、保育者がモデルとなり言葉の使い方を知らせ、言葉の美しさや楽しさに気づけるようにしている	2			
	内容やストーリーを理解してイメージを膨らませられるように、保育者や友だちと一緒に絵本や紙芝居等を楽しめる時間や多様な場をもてるようにしている	1	1		

表現	様々なものの音・色・手触り等に気づき、驚いたり感動したりしたことを言葉や動き、表情等で表現している姿を受け止め、子どもの変化に敏感に応答している	1	1		
	役になりきったイメージを表現したりできるように、音楽や衣装等を子どもたちが自由に使えるように用意している		2		
	作ったり描いたりすることが十分楽しめるように、意欲やイメージが湧くような素材・材料を十分用意し、表現する過程を認めるとともに、必要に応じて使い方を伝えるようにしている	2			

今後の保育の課題・目標（何をどのように）

- ・子どもを待たせることがないよう、優先で過ごせるようにしていきたい。
- ・肯定的な声掛けの意識はあるが、気持ちに余裕がないと声の大きさ、口調が強くなってしまふ。急かさないように気持ちに寄り添いながら声掛けしていきたい。
- ・散歩を増やしていきたい。
- ・コミュニケーションをとりながら気持ちに寄り添い否定的な言動について感謝して関わってきたい。

5 歳児 4 名回答

◎十分にできた ○できた △課題あり ×要改善		◎	○	△	×
3 歳以上児	子ども一人ひとりの思いを受け止め、共感したり認めたりしながら信頼関係を築いている	2	2		
	子どもに関わる時には、事前に言葉がけをしている	3	1		
	子どもが不安になったり困ったりしたときは、安心できる言葉がけや援助をしている	1	3		
	排泄の援助は個人差に配慮し、一人ひとりに合わせた対応をしている	3	1		
	衣服の着脱は、一人ひとりの発達に応じて分かりやすい指導をしている	3	1		
	「あとで」と言って子どもを待たせず、出来るだけその場で対応しようとしている		1	3	
	社会的ルールを子どもが理解できるように導き、間違いに気づくように援助している	2	1	1	
	子ども同士が互いの気持ちや発言を受け入れられるように援助している	2		2	

健康	友だちやクラスの人々と一緒に体を動かしたり遊びを工夫したりして、遊ぶ楽しさを感じられるようにしている	1	3		
	複雑な動きやダイナミックな動きを引き出し、体を動かす楽しさを感じられるように、ボールや縄等の遊具や用具を用意している	1	3		
	うがいや手洗い等の病気の予防や身の回りの始末、片づけの必要性を子ども自身が感じながら身につけ、見通しをもって行動できるように配慮している	3	1		

人間関係	共通のイメージや目的をもってグループの友だちと遊びを進める楽しさを感じられるように、場や時間を十分確保し、設定や教材を工夫している	2	2		
	友だちの良さに気づいたり相手の立場にたって考えたり、友だちと力を合わせて競う楽しさや悔しさを味わったりできるように、グループやクラスでの活動を工夫している	2	2		
	自分のしたことや善悪やルールやきまりの必要性に気づき、どうしたら良いか考えられるように、一人ひとりの気持ちに寄り添い、子どもの思いや考えを引き出すようにしている	1	2	1	

環境	物の性質・仕組み・因果関係・法則に気づけるように、物の特性や自然現象を繰り返すことができる場を作り、発見したことを丁寧に受け止め、その結びつきが分かるように言葉をかけている	1	2	1	
	様々な図形・数量・文字に関心を持ち、日常生活の中で使ったり遊びに取り入れたり出来るように、文字や数を使った掲示や時計等を置いたり紙や鉛筆・ペン等を用意したりしている	1	3		
	飼育物や栽培物の世話に気づき、自分でできることをしようとする姿を認め、動植物の成長をクラスの人々と共感できるようにしている	1	2	1	
	社会とのつながりや国際理解の意識が芽生えるように、伝統的な遊び・わらべうた・国旗等に親しむ中で異なる文化に興味を持つ機会を作るようにしている	1	1	2	

言葉	考えたことや疑問に思ったことを友だちクラスの人々に言葉で伝えようとするように、子どもの発言を肯定的に受け止め、なんでも安心して言い合える雰囲気を作るようにしている	1	3		
	一人ひとりの興味や個人差に配慮しながら、友だちとの遊びや生活の中で文字を読んだり書いたりすることが楽しめるように、活動や設定を工夫している	2	2		
	絵本・物語・詩等に親しみ、言葉の美しさやリズム感等を味わえるようにするとともに、聞いて心地よい言葉を使うことを子どもが意識できるようにしている	2	1	1	

表現	遊びの中で使うものを作ったり、イメージや本物に近づけた物を作ったりすることができるよう、素材・材料・道具・用具を用意し、必要に応じて使い方や活かし方に気づくようにしている	1	3		
	友だちと共通のイメージや目的をもって描いたり作ったりするように、思いや考えを友だちに伝え合う楽しさを感じたり、友だちの思いに共感したりできるように配慮している	1	3		
	イメージしたものを体の動きや言葉等で表現したり演じたりする楽しさを味わえるように、音楽・絵本・物語・詩等を用意し、遊びの中で必要に応じて使えるようにしている	1	3		

今後の保育の課題・目標（何をどのように）

- ・子どもたちの成長段階を知り、対応できるようにしていきたい。
- ・落ち着ける環境作り。
- ・言葉でのトラブルが多いので、正しい言葉を正しい場面で使えられるようにしていきたい。
- ・業務先行にならないように、職員同士連携を図りながら子どもたちが安心して関われるような環境作りを心がけていきたい。

令和7年度 社会福祉法人実窓寺福祉会 かじのきこども園
【調理室自己評価】～調理振り返りシート 令和7年8月記入

※各項目の評価(◎・○・△・×)の欄に
 ○をつけて下さい。

氏名

給食室4名回答

◎十分にできた ○できた △課題あり ×要改善

◎ ○ △ ×

食育の計画	食に関する豊かな体験ができるように「食育の計画」が作成されている		4		
	「食育の計画」が全職員で共有されている		2	2	
	保育園で作成された保育過程・指導計画の中に「食育の計画」が位置づいている	1	3		
	食育の計画に、基づいた食事が提供され、体験が実践され、その評価改善を行っている	2	2		
調理員の役割	調理員が、保育内容を理解し考慮した上で、献立作成や食事の提供を行っている	4			
	調理員が、子どもの食事の状況をみている(保育室へ見に行く)	3	1		
	喫食状況、残食などの評価をふまえ調理を工夫している(その内容が記録に残されている)	4			
乳幼児期	年齢や個人差に応じた食事の提供をしている	4			
	子どもの発達に応じた食具を使用できている	3	1		
	離乳は、保護者と連携し、発育・発達の段階に応じて進めている	2	2		
	特別な配慮が必要な子ども(体調不良・食物アレルギー・障害等)の状況に合わせた食事を提供している	3	1		
生活や心身	子どもが食事をする場所は衛生的に管理されている	2	2		
	子どもが落ち着いて食事のできる環境になっている	1	3		
	子どもの生活リズムや日々の保育の状況に合わせて、柔軟に食事の提供をしている	1	3		
環境と提供	衛生的な食事の提供をしている	4			
	友達と一緒に食事を楽しんでいる(時には、大人と一緒に)	4			
	食事のスタイルに工夫がされている(時には、外で食べるなど)	3	1		
	温かい物、出来たての物等子どもにとって最も良い状態で食事を提供している	3	1		
業務の準備・実施・振り返り	手順に従い、調理全般の準備・下ごしらえを適切に行っている	4			
	食材の温度管理・期限管理・鮮度管理等を適切に行っている	4			
	厨房機器・食器・調理器具等に不具合や不衛生がないか丁寧に点検し、調整や洗浄を行っている	4			
	給食を時間内に提供できるように段取りを考えながら調理を行っている	4			
	切る・蒸す・焼く・炒める・揚げる・加熱するなど基本的な調理手法により効率的に調理を行っている	4			
	自分自身、自覚して衛生管理を行っている	4			
	調理に得手・不得手がないように調理技術の習得に努めている	4			
人間関係と配慮	上司の助言や指導に沿った行動を取り、余力がある場合は進んで同僚の仕事をサポートしている	3	1		
	正規・常勤・非常勤を問わず、働く全員に適切な態度で接し、良好な人間関係を構築している	4			

今後の調理の課題・目標(何をどのように)

- ・調理工程を効率よく円滑に作業できるように勤める。
- ・給食提供は、「安心安全」であることが第一。
- ・給食を楽しみにしてくれる温かい雰囲気の給食提供を心がけたい。
- ・衛生管理の尊守、離乳食、アレルギー等、正しい知識を研修等でしっかり学びたい。
- ・怪我無く調理・配膳を行い、安心・安全な給食提供に努める。
- ・発達状態に応じた、適切な形態・味付けでの食事提供を行う。